

# 「見つめよう 地域の自然環境」

4年生は、総合的な学習の時間で、「見つめよう地域の自然環境」という単元において、身近な自然環境とそこで起きている環境問題について調べることを通して、安全な水の大切さやそれを守ろうとしている人たちの努力について知ることで、自分たちにもできることは何か考える学習をしています。

12月10日（火）には、学習の一環として、公益財団法人尾瀬保護財団から尾瀬山の鼻ビジターセンター所長様をお迎えして、尾瀬自然教室を行いました。

スライドを使って、尾瀬の自然（湿原の成り立ち、尾瀬に生育する動植物とそのつながり、気象・気候の特徴等）や自然を守るための取組（植生回復作業、木道やトイレ施設整備、交通規制等）、また、尾瀬に関わる人々（ビジターセンター職員、ボッカさん、山小屋、ボランティア、自然保護団体）などについて説明をいただきました。

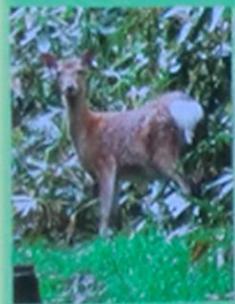
児童にとって、尾瀬を通して身近な自然を知り、環境を守るために自分ができることを考えるきっかけづくりになりました。



自然を守るとりくみ



ある動物がふえてしまったことで、  
こまっています。その動物は？



①ニホンジカ

②カモシカ

③テン



水をキレイにするしくみ

入浴で不潔がなかにこぼれしまいました

交通整理や通行止め

窓口、受付

いろいろな質問に答えます

